



今年6月9日(日)にルスツのBIGBEARで始まったMFJ 北海道エンデューロ選手権ですが、これまで夕張や日高で行われたHTDE（日高ツーデイズエンデューロ）を含めた全6戦が終わり、いよいよ今週末のルスツ戦が最終戦となりました。

MFJ から発表された公認クラスのポイントランキングを見ると、先月のHTDEで一気にポイントを獲得して、最終戦の前に上位ランクに転じた方々も数名見受けられます。

来年度に向けた上位クラスへの昇格は、最終戦で獲得したポイントを考慮して決まることとなりますが、現在、クラスごとの上位の各ライダーが保有する有効ポイントの差が極めて小さいことからして、最終戦となるルスツ戦では各クラスともに、相当気合いの入ったレース展開が行われるのではないかと予想されます。

果たしてこのまま順当にレースが終わるのか？ それとも悪天候などで、どんでん返しのレースとなるのか？ エンデューロファンの皆さんにとってはとても楽しみなレースとなりそうですね。

さて、それでは最新のMFJ 暫定ポイントランキングをもとに、上位選手のこれまでの成績を整理しながら、最終戦の見所を探ってみます。

まず、上級クラスへの昇格枠なのですが、今年の枠は、IAが1人、IBが3人、NAが6人となっています。またこの昇格を判断するための獲得ポイントは、全7戦中で上位5戦でのポイントが有効ポイントとして適用されることになっています。

2019年度の全道戦はこれまで6戦行われていますが、最新のMFJから発表されているポイントランキングはあくまで暫定的なものなので、全てに参加して5戦分のポイントが掲載されている方や、まだ4戦しか出ていない方々のポイントなどが入り混じった中での整理となっています。

最終的にはルスツ戦での結果が反映されて、上位5戦でのポイントが抽出されてランキングが決定されるのですが、最終戦前の現時点での状況をわかりやすくするために、ここでは各選手のポイント獲得数の多い今年の4戦分の有効ポイントを再整理（抽出）して、比較となるポイントのベースを統一した上で、全体の状況を分析してみたいと思います。

◎IBクラス



このクラスの見所は、何とんでも一つしか無いIA昇格枠の争いを展開している154佐藤選手、110前田選手の戦いに絞られると思います。

前田選手は昨年129ポイントを獲得し年間優勝したものの、IAには昇格せずにあえてIBにとどまりました。一方、佐藤選手は、昨年の最終獲得ポイントは121ポイントで2番手。前田選手に8ポイント及ばずIA昇格は果たせませんでした。この時、最終戦のルスツで優勝すれば1ポイント差で逆転優勝が出来る環境にはあったのですが、結果は6位となり、前田選手に10ポイントの差をつけられてしまいました。佐藤選手にとっては、今年の最終戦は何が何でも絶対に負けられないレースであり、因縁の前田選手との一騎打ちになります。

現時点での両者の保有ポイントは、1番手の前田選手が104ポイント（6戦中で上位5戦分）で2位の佐藤選手が95ポイント（4戦分）です。両者のポイント差は10ポイントと大きな差がありますが、前述したようにMFJのルールでは上位5戦の獲得ポイントで争われるので、両者とも最終戦でこれまで以上に良い成績を出すことを前提として、今年のレースの上位4戦での結果だけに絞る（既に5戦出場している場合は一番低いポイントをカットする）と、前田選手のポイントは84ポイントとなり、佐藤選手が94ポイントで、現時点では佐藤選手が10ポイント上回っている結果となります。ということは、佐藤選手が今回最低でも5位以内（16ポイント以上を獲得）に入れば、必然的にIAへの昇格が見えてくるということになります。佐藤選手は去年の最終戦で悪天候による轍の渋滞に巻き込まれていい結果を出せなかったようですが、今年はモトクロスの全道戦にも出場して、先日、NAクラスの昇格を決めたばかりです。この勢いに乗って最終戦のレースをどう展開していくのか、今から非常に楽しみです。

◎NAクラス



IBへの昇格枠が3人となるこのクラスは、何と云っても329中江選手と330伊藤選手がダントツです。現時点での有効ポイントは、中江選手が109ポイントで1番手、伊藤選手が97ポイントで2番手となっていますが、これまでの上位4戦のポイントに絞って計算すると、中江選手が91ポイント、伊藤選手が97ポイントで6ポイントリードしています。どちらが勝つにせよ、これまでの走りを見ると、余程のことが無い限りこの二人は順当に上のクラスに進んでいくような感じがします。

さてここで楽しみなのは、残り一つの IB 昇格枠をめぐった 3 番手争いです。目下のところ、これまでの上位 4 戦の結果では、HTDE で 14 ポイントを稼いだ 304 小山選手が 68 ポイントで 3 番手、333 佐藤選手と 343 小林選手が 67 ポイントで 4 番手、318 清水選手が 66 ポイントで 6 番手といった成績です。この差はわずかに 2 ポイントしかないなので、ほとんど横並びのガチンコ勝負になります。



(304 小山選手)

(333 小林選手)

(318 清水選手)

残り一つの昇格枠をめぐって一体誰がその切符を手にするのか、4 人の選手の熾烈な戦いが展開されそうなので、とても興味深い見所になりますね。

◎NB クラス



このクラスでは、前回行われた HTDE の結果が現時点のポイントランキングに大きく影響しています。まずこれまでに第 1 戦、第 2 戦を制した 482 (566) 飯田選手なのですが、HTDE の 1 日目で優勝し 25 ポイントを獲

得。2日目はミスコースによるペナルティを受けながらも 13 ポイントを獲得し、上位 4 戦での有効ポイント数を整理すると 88 ポイントとなり、現時点で NB クラスのトップに躍り出ました。当然と言われればそれまでですが、とにかく凄いです。

2 番手は HTDE の 2 日間で 42 ポイントを獲得した 477(567)田崎選手 (82P)、3 番手は同じく HTDE で 41 ポイントを獲得した 490(574)小熊選手 (81P)、4 番手は 445 北谷選手 (73P)、5 番手は HTDE で 14 ポイントを獲得した 474(564)山下選手 (67P)、



6番手はHTDEで10ポイントを獲得した424鈴木選手(64P)、7番手は447松山選手(63P)、8番手は460渋谷選手(60P)、9番手はHTDEで23ポイントを獲得した451(554)齋藤選手(50P)となっています。



これまでの成績(走り)を見ると、482(566)飯田選手は別格としても、後半に入ってからかなり良い成績を残している2番手の477(567)田崎選手、3番手の490(574)小熊選手の2人に続き、4番手以降の445北谷選手(73P)、474(564)山下選手(67P)、424鈴木選手(64P)、松山選手(63P)、460渋谷選手(60P)、451(554)齋藤選手(50P)の6人が、NAへの昇格枠にどう絡んでくるかが、このクラスの見所になると思います。

◎最後に

最終戦のルストツ戦はどんな展開になるのか個人的にとっても興味があったので、参加される選手の皆さんや応援の皆さんの参考になればと思い、勝手にレース前のレポートを書きました。

こうしてみると今回の北海道エンデューロ選手権の最終戦は見所が沢山ありますね。

勝負は時の運といわれるように、どこでどうなるのかは終わってみないとわかりませんが、今回のレースは、泣いても笑っても2019年度を締めくくる最後のレース。参加される選手の皆さん、ぜひとも全力で頑張ってくださいね。

エントリーは本日9月30日が締め切りですよ。くれぐれも忘れないでね!

By 2か

◎ JEC 北海道エリア最終戦のエントリーは本日(9/30)まで!

<https://bbrusutsu.org/2019/09/24/jec%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E3%82%A8%E3%83%AA%E3%82%A2%E6%9C%80%E7%B5%82%E6%88%A6%E3%81%AE%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%83%88%E3%83%Aa%E3%83%BC%E3%81%AF-30%E3%81%BE%E3%81%A7/?fbclid=IwAR25oJLKB95JME1HX66NNUYiq2fjXJC2vYHaGb14nYbBQ2ku8kaX9J-sIs>